

会 員 各 位

一般社団法人奈良県警備業協会

重大労災事故事例 (No. 4)

(被災区分)

重傷

(被災者の属する企業)

所在都道府県	従業員数
愛知県	970名

(被災者)

性別	年齢	経験年数	警備業関係取得資格
男	64	3日目	なし

(被災状況)

事故発生日時・天候	令和 6 年 7 月 7 日 (日) 午前 3 時 0 分頃 天候 晴
事故発生場所 (国・県道等の別)	警備対象施設 事務棟 1階外部トイレ
当事者	①被災警備員
事故の概要	①は、警備対象施設において、先輩警備員1名とともに施設警備業務に従事していた。 ①は、休憩時間中に仮眠から目を覚まし、事務棟1階外部トイレに向かった際、トイレ入口扉前の1段上に昇降するコンクリートの段差に気付かず足を引っ掛けて転倒した。 ①は、その後も勤務を継続したが、下番後、痛みが治まらないため通院したところ、右肩骨折により加療を含め全治1ヶ月と診断されたもの。 なお、外部トイレ周辺は外灯も少なく視界が悪い状況であったが、①は懐中電灯等を携行せずトイレに向かっていた。
現場略図	現場略図省略
教訓事項	1 視界の悪い夜間の移動については、足元や周辺建屋の突起物などに気付くことができるよう、必ず懐中電灯等を携行して使用する。 2 事務所内のトイレも使用は可能であったが、①は研修3日目で室内のトイレが使用できることを理解していなかった。初めて配置に就く対象先では、まず館内の状況や危険な箇所の把握に努める。
今後の対策	1 安全衛生管理における、基本動作（足元の確認、視界の悪い場所での歩行方法）等を周知徹底する。 2 KY（危険予知）トレーニングを実施して、危険な挙動がないかを検証し、事故防止の意識付けを徹底する。
備考	